

研究主題

メンターの活用による若手教員の育成 教師力の育成と高めあう組織づくり

大阪市立田辺中学校

1. 取組内容

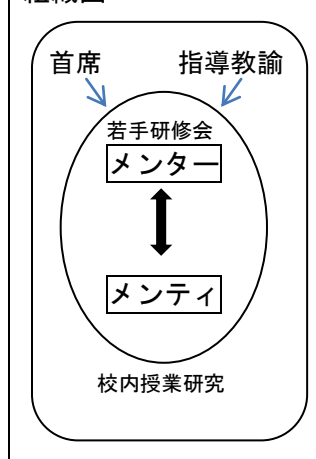
○教員の資質向上を目指したメンタリング

メンターが中心となり、新任教員や若手教員が当面ぶつかる課題や関心などを、1年間の実践の時間軸に即して、また得意不得意などを互いに明確にし、チームで取り組むように位置づけた。指導力向上のために、気軽に聞いたり、話し合ったり本音で語り合えるように人間関係を築くことが大切だと考えた。チームには随時、首席・指導教諭が入り、指導助言を行った。

○指導力の向上・人材育成

新任や若手教員に関わる雰囲気づくりを学校全体に作っていくために、授業を柱に研修を進めた。校内授業研究では、言語力の育成を柱に、発表用ホワイトボードの利用による授業の展開や電子黒板を有効活用した授業研究を実施した。授業研究後の研究協議では、ワークショップ形式を取り入れ、小グループで話し合うことにより、若手教員が意見を出しやすい雰囲気をつくり、討議が活発に進み研修が深まるようにした。

組織図



2. メンターの感想

- ・メンターとして若手教員の中心として努力しようという自覚が生まれた。
- ・若手教員中心の研修会を開くことで課題を共有でき、チームワークが強くなった。
- ・メンティに授業や学級経営について十分アドバイスをすることができなかった点もあり、自分を磨く努力をしていきたい。

3. メンティの感想

- ・多くの研修によって自分の知識や経験の幅を広げることができた。
- ・研修を通して、授業の仕方や学級づくり、生徒との関わりを学ぶことができた。
- ・想像以上に教員の職責の重さを感じた。
- ・積極的に学び、挑戦し自分の成長につなげたい。

4. 成果と課題

「メンターを活用した若手教員の育成」をテーマに、サブテーマ「教師力の育成と高め合う組織づくり」に取り組んだ。学校組織全体としての授業力アップを目標に、全教員による公開授業を義務付け、指導案も今後導入される『目標に準拠した評価』を念頭に作成した。また、生徒の「考える力」育成のため、全教科において『言語力育成』を目標に位置づけた。

国語科においては大学教授の定期的な指導のもと、テーマごとに授業づくりについて指導していただいた。1/22には奈良教育大学教職大学院の小柳教授、関西国際大学の中西教授を招聘し、公開授業を行うとともに研究協議会を実施し、指導助言を仰いだ。本校初の取組みであったが、教員にとっては大きな刺激となった。当日は他校からも参加者があり、充実した研究発表会を開催することができた。これらの取組みの結果、大学教授等による指導を希望する教員もおり、意識の高まりは見られる。

教員の意識調査では授業力・組織力について機運は高まってきているので、意識改革・授業改善をさらに積極的に行うとともに教育機器の充実を図り、毎時間の授業を変えることにより、組織としての学力向上に繋げていきたいと考えている。